

# 小山高校進路通信

令和元年度第3号

2020. 3. 17

静岡県立小山高等学校進路課

## 進路講演会特集号その1 ～ 3年生編

新型コロナウイルス感染防止のため休校となり、残念ながら1・2年生の進路講演会も中止となりました。しかし、講演に来ていただく予定だった講師の先生方にアンケートに協力してもらい、後輩の皆さんへのメッセージをいただきましたので、お伝えします。進路実現のために「今、何をすべきか」を、しっかり考えてください。

### 質問の内容

< >内は進学・就職先

- ① あなたは今の進路をどうして選びましたか？その進路（進学先・就職先）でかなえたい夢を含めて教えてください。
- ② あなたは自分の進路を実現するために、どのようなことを頑張りましたか。うまくいった点、失敗した点も含めて教えてください。
- ③ あなたが後輩に対して伝えたいアドバイスを書いてください。

### <都留文科大学 教養学部 地域社会学科>

① 自分は高校1年生の時、地域の特色を活かしてイベント等で盛り上がる様子に感動したことから、自分もこのようなことに携わりたいと考え、様々な地域政策に対しても興味を持ちはじめた。そして、親からできれば国公立の大学に行ってほしいと言われていたこともあり、国立や公立の大学の中で自分が行きたい学部がある大学をインターネットで探した。その結果、地理的にも近い山梨県の都留文科大学を見つけ、志望校とした。

② 地域社会学科の推薦入試はほとんど小論文で合否が決まるため、小論文対策に多くの時間をかけた。実際に小論文を書き始めたのは3年生の夏休みだった。この時期に私の他にもう一人、学科は違うが都留文科大学の推薦入試を受ける友達がいたため、その友達と話し合い小論文が得意な先生のもとへ指導をお願いしに行くことを決めた。**合格した先輩たちが先生のもとへ毎日通っていた**という話を聞いたため、私たちも同じように努力しようと考えた。この**夏休みの段階で先生のもとへ動けたのが合格できた一番大きな要因**だと思っている。

地域社会学科の小論文は現代社会で問題となっていることや様々な活動の事例などの知識がなければ書けないことがあるため、それらの知識を入れながら小論文に慣れていく必要があった。私はスマートフォンのインターネットを使い、**通学の電車中などの隙間時間**を使ったり、**地域の事例用の専用ノートを用意**したりしてそれらの知識を入れた。できるだけ経済産業省や環境省などの信頼できるサイトで事例を調べるようにしていた。そして**過去問を書いては先生の元へ通う**ということ**を毎日繰り返すうちに、現代の社会問題についても理解できるようになっていった**。反省点としては基本的な社会知識や言葉の意味の学習をもっと早くからするべきだったということがある。社会系の基礎用語や地域の事例などを学習しながらの小論文の練習に加えて、一般入試の勉強もしなければならぬため、忙しく、小論文の上達にも少し時間がかかってしまった。改めて早めの準備が必要だと思う。

③ **「勉強方法」** 部活のある1, 2年生の時はほとんど勉強時間を確保できていなかった。その分テスト前の土日などに長時間集中して勉強するようにしていたため、いざというときにしっかり集中力を発揮できるようになっていたと感じる。**受験勉強(小論文やセンターなど)はどうしても長時間の集中力が必要のため、今からでも長時間勉強する経験をしてほしい。**自分は1, 2年生の成績も良いラインをキープできていたため、推薦入試の際の自信にもつながった。

**「推薦 A0 について」** 推薦・A0 入試が11月の場合、10月から担当の先生を付けていただける。しかし、10月からではやはり遅いと感じる。先生の中にも小論文が得意な先生、面接指導が得意な先生などがある。自分は夏休みの時点で小論文が得意な先生の元へ行っていたため、おそらく10月からの担当の先生もその先生にさせていただけたのだと思う。そういう意味でも早めに動くことが大切だと考える。進路実現に対して本気で努力するという気持ちを先生方に見せれば、小山高の先生達は手厚く丁寧にサポートしてくれるため、自分の気持ちをしっかりアピールすることから受験勉強を始めてほしいと思う。

## <国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科>

① 私は将来、高齢者の医療(看護)に携わりたいと思っている。そのため、看護師・保健師・養護教諭の国家資格を受けることができる大学で、“地域包括センター”についてなど高齢者医療について深く学びたいと思い、志望した。また、国際医療福祉大学では、他学科と一緒に行う授業があるため、そこで“チーム医療・チームケア”を学べると思い、志望した。

②<部活について> 部活は3年生の最後、県大会に出場できたので、6月中旬まで活動していた。勉強との両立は出来たほうだと感じる。**両立するために隙間時間をうまく活用した。**(移動時間・バス、電車、車など)

<ボランティア活動について> ボランティア活動を1, 2年生の時、保育園で行った。その時の経験を語るができると思うので、体験していたほうが良いと思う。

<入試について> 国際医療福祉大学の入試は、一般基礎学力試験で4教科が必須だった。

国・英は、単語・文法、ことわざ、四字熟語を覚えておくのが必要だった。

試験科目で社会があり、日本史・世界史が出て全くわからない問題があった。私は理系だったので社会の勉強が不十分だったのが失敗だった。基礎的な問題はしっかりと勉強していたほうがよいと思う。

**試験時間は長く感じられ、余裕があるかもしれませんが、油断せず、見直しすることが大切。**

<面接について>

6回面接練習を行った。練習1回目は全く自分の言いたいことが言えずボロボロだった。そこから何度も友達や家族をお願いをして、修正をしながら面接練習をした。完璧とは言えないが、本番一週間前に自分の言葉に自信をもてるようになった。友達や面接をしてくれた先生からのアドバイスはとても大切。

③ 勉強時間は時間を決めて行うといい。**部活が忙しくて時間がない時でも、必ず毎日勉強時間を決めていればやる気がでる！とにかく毎日やる！**スマホのスケジュールアプリなどを使い、アラーム鳴るようにしておくのもよい。

**部活引退後、1日3時間~5時間を目安に時間を決めることが大切。**その時間の配分は、私の場合、英語が苦手だったので、約6割の時間をかけた。

## <常葉大学短期大学部 保育学科>

① 中学での保育実習に行った時、子どもがどのように発達していくのか興味を持ち保育士になりたいと思いました。そこで自宅から通える範囲内の大学を探しオープンキャンパスに参加したところ、常葉大学短期大学部のオープンキャンパスの明るい雰囲気印象に残りました。

②<部活と勉強の両立> 部活動は運動部のマネージャーをしていて、忙しい時でも気を抜かず両立を頑張りました。また、学童保育ボランティアや自分でアポイント電話を取り**保育所にボランティアしにい**

くことも頑張りました。

＜ピアノの練習＞ 私はピアノ初心者だったので、大学に行って良いスタートができるように、学校でピアノの授業を取り、家でも練習を頑張りました。

③＜面接練習＞ 私は面接練習を始めた頃5人の先生方と面接練習をしていました。その度にアドバイスをもらっていたので頭の中で整理がつかなくなっていました。なので面接練習をする際は先生の数を絞り、じっくり面接練習をしてもらうのが良いです。

＜受験当日＞ 受験当日は、面接練習を何回もやっていたら緊張が和らぎ自信もつき、練習の成果を出せます！

## ＜静岡県立看護学校＞

① 父が放射線技師でよく病院内の話聞くことがあり看護師という職業に興味を抱きました。その後従兄弟が生まれ病院に行った際に、産後の母親に代わり新生児の身の回りのケアをする看護師さんを見て命の誕生に携わる素晴らしい職業だと感じ、助産師や小児医療に興味を持ち始めました。

② ナース体験は2回ほど行きました。それぞれの病院で特徴が違ったりしてくるので色々な病院に行って体験見学することですごく勉強になりました。オープンキャンパスもなるべく多く行くといいと思います。私は2年と3年で県立看護のオープンキャンパスに行きました。内容も少し変わっていたり、貰える過去問も変わっていたりしたので、興味のある学校はオープンキャンパスに行っておくと安心だと思います。

また、面接練習は夏休み前くらいから準備を始め、夏休みには先生にお願いし練習を行っていました。上手く答えられなかった質問は、次回の練習でも聞いていただけるようお願いし、次回までに答えられるように考えておきました。質問の答えをそのまま暗記するのではなく、自分が伝えたいことをまとめておくと、緊張して忘れてしまっても伝えられると思いました。

③ 看護の専門や保育の専門は周りと比べ受験が早いことが多いので早めに準備をしておくと安心だと思います。私が本格的に勉強を始めたのは高3の夏休みで、夏休みには数ⅠAの白チャートを毎日やり、受験までには5~6周はやり完璧に解けるようにしておきました。数学は基礎が多く出るので簡単な問題を着実に点数にすることが大切だと感じました。また国語は四字熟語が出題されるので単語帳をつくり少しずつ覚えるようにしていました。

分野別指導の看護で看護ノートの作成をしていると思いますが、私はそれがとても役に立ちました。医療の現状を知るだけでなく面接にもすごく役立ちます。また新聞を読むきっかけができたと思います。学校を休まず皆勤であることノートの作成をしていたことなど、面接で伝えるとアピールすることができると思います。自分のアピールできることを増やしておくといいと思いました。

## ＜御殿場市・小山町行政組合 / 消防職＞

① 小学生の時に消防士という仕事に興味を持ち、中学の職業体験で、消防士は市民町民の生活、命を最前線で守り、安心して暮らせる街づくりに貢献できることを知り消防士になりたいと思ったから。

② 私は文武両道できていなかったと思います。でも、テスト週間だけはしっかり勉強しました。消防試験は、高校で学んだことも多く出るのでしっかり勉強したほうが良いと思います。

課外活動では、昨年の台風19号で被害を受けた小山町の災害ボランティアに参加しました。公務員になりたい人は、災害ボランティアに参加することを勧めます。とても大変でしたが、とても貴重な経験をすることが出来ました。

③ 公務員試験の勉強を始めたのは、部活を引退してからの夏休みです。私の場合は第二志望が大学だったため、学校での補習と公務員試験に向けての勉強と体力トレーニングを平行して行いました。試験の中には普段の授業をしっかり受けていればある程度、解ける問題が多かったのであまり時間をかけませんでした。

私は理系だったので歴史や政治、生物には苦戦しました。文系で受ける人は、数学や物理、化学に苦戦すると思います。問題集を何度もとき、「広く・浅く」勉強しました。公務員試験特有の数的推理と判断推理は、とにかく問題を解いて、解くコツを身に着けました。この問題の配点は大きいので、最優先で勉強しました。とにかく、問題にたくさんふれ、間違えた問題は確実にできるようにすることが、合格への近道だと思います。私は、問題集は合格した先輩から借り、また、学校にある問題集も使いました。正直、夏休みから準備を始めましたが、時間が足りないと感じました。そのため、**進路実現のために1日でも早く勉強やトレーニングをした方が良い**と思います。

**部活は全力で取り組んでください。部活での活動や経験ほど面接で役に立つものはない**と思います。また、リーダー職や学校行事、ボランティア活動に積極的に参加することを勧めます。

私は、災害ボランティアに参加しました。**消防の試験では、面接を30分×3回行うため、話の引き出しが少ないと自分が困るので、高校でたくさんの経験を積んでください。**面接では、圧迫はしてきませんが、深くまで聞いてきたり、答えにくいような質問をしてくれたりします。しっかり準備をすることも大事ですが、臨機応変に答えることも求められるので、予想外の質問をされても落ち着いて答えて下さい。わからないことはわからないと正直に答えた方が良いと思います。私は、面接をたくさんの先生に協力してもらい、臨機応変に答えられるよう練習しました。

体力試験では、懸垂とシャトルランで差が付きます。懸垂は10回、シャトルランは115以上を目指して頑張ってください。勉強中に嫌になることもあるかもしれませんが、私の場合は内定をもらえれば、12月以降は気が楽になれるぐらいに考えて、とにかく頑張りました。

今年の高卒合格は8人中2人でした。進学に比べれば倍率は低いですが、体力、学力ともに求められるので、どちらも手を抜かず頑張ってください。みなさんの健闘を心から願っています。

## <小田急リゾート>

- ① ホテルマンに憧れを持っていたため、選びました。そこで、私はお客様から選ばれる接客をしたいです。
- ② **英語検定2級**をとったこと。ホテルなので英語ができた方がいいと思い受けました。面接の際に役に立ったと思います。

面接練習を頑張りました。何度もやることで自分に自信ができました。

- ③ <面接指導について> 面接ノートはちゃんと書いて練習した方がいいと思います。**先生のアドバイスはちゃんとメモを取ってすぐに取り入れた方がいい**と思います。毎日嫌だと思える日もあると思いますが、やらないよりはやった方が絶対によいです。

<受験当日のこと> 服装は制服でローファーの方が好印象だと思います。

持ち物は筆記用具と面接ノート、飲み物くらい。あとは自分が必要だと思ったもの。

時間の使い方は、とりあえず志望動機と長所と短所、自己PRをずっと練習してました。

意識していたことは、なるべく笑顔でいることです。

自分のことを信じて頑張ることが大事だと思います。

※ 今回紹介できたのは、アンケートに協力してくださった先輩方の一部です。

近日中に、続編を発行しますので、ご期待ください。